



No. **181**

令和5年1月31日号

信濃町議会だより



**冬本番!!
クロカンスタート!!**

第420回定例会 10～12月会議

新年を迎えて・議長あいさつ

町長招集あいさつ 1ページ

補正・条例改正 2～3ページ

請願・陳情 4ページ

賛否一覧表 5ページ

一般質問 6～10ページ

委員会活動あれこれ... 11～12ページ

全員協議会から 13～14ページ

第420回定例会を振り返って

..... 15～16ページ

ぎかい活動365日 17～18ページ

わたしの出番

三館企画/黒姫童話館 19ページ

発行／信濃町議会 発行責任者／佐藤 武雄

編集／議会広報調査特別委員会

〒389-1392 長野県上水内郡信濃町柏原428-2

TEL(026)255-2212

印刷／(社福) ながのコロニー長野福祉工場

令和5年第421回 定例会スタート

会期348日間
1月6日から
12月19日の間

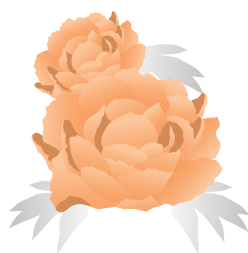


新年の ごあいさつ

信濃町議会議長
佐藤 武雄

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。日頃より町議会に對しまして温かいご理解と絶大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。全国では首長提出議

新たにしております。また、コロナウイルス感染症が未だ終息が見えず先行き不透明ななか、町内産業、経済も低迷しております。今後も経済界、行政、議会共々協力し対策を講じなければならぬと思っております。また、昨年二十一世紀に誰が起ころと思つたでしょう、ロシアによるウクライナ侵略が世界に衝撃を与えました。これを機に日本の安全保障戦略の在り方が問われることとなります。ほかに、円安、エネルギー問題等が山積していますが、本年が町民の皆さまにとりまして最良の年となりますよう祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



第421回定例会招集

鈴木文雄町長は、1月6日に議会を招集しました。421回定例会が始まりました。会期は、1

月6日から12月19日までの348日間と決定しました。令和5年通年議会がスタートしました。



招集のあいさつをする鈴木文雄町長

12月会議から

鈴木町長 初議会

鈴木町長は、初議会の12月定例会議で所信表明しました。

施策の基本方針として「住んで良かった信濃町を次の世代へ」という目標を掲げました。具体的には、次の4点を当面の目標としています。

- 一 「コロナ禍からの再生」
- 二 「子育て支援と高齢者福祉の充実」
- 三 「地域固有の持ち味を生かす施策の充実」
- 四 「医療提供体制の強化」

副町長人事

副町長に、高橋博司氏を再任したいとする議案が提出されました。討論には2人の議員が立ちました。採決の結果は反対7人、賛成3人。副町長の選任同意を求める議案は、不同意となりました。

賛成

北村富貴夫 議員
高橋博司さんは、行政経験豊富で平成31年から

反対

佐藤 博一 議員
副町長の40数年のご尽力は大変見事なものでした。ただし観光に関する、交付税等のミス

職員の定年 65歳まで延長

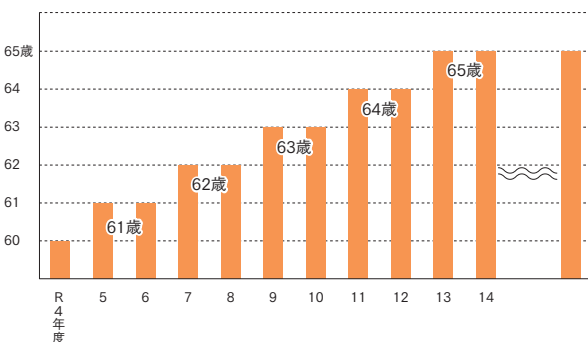
リードが見受けられ、そろそろ新しい風を吹かせてもらってはいかがなものでしょう。新たな方を選任いただければと思っております。

地方公務員法の改正に伴い、町職員の定年を60歳から65歳に延長する条例改正案が提出されました。全議員が賛成し可決しました。

12月定例会
副町長人事案 不同意
職員定年延長 可決
し尿・汚泥
手数料改定 可決

総務産業 常任委員会の 審査から

Q 退職手当の支給時期は。
A 実際に退職する時点で支払います。
Q 給料は70%に減給になる。この額をもとに退職金を計算するのか。
A 60歳までの勤務年数分は、60歳時点の給料で計算します。60歳到達後の退職金は、7割になった給料で計算します。合算して退職金になります。



段階的に定年引上げ

社会文教常任委員会の 審査から

Q 人件費の増加分は、給料に反映されるか。
A 最低賃金の増加分が、従業員の人件費に反映されています。
Q くみ取り戸数が少ないから、料金が上がってしまうのか。
A 直接は関係ないと思います。最低賃金が上がっています。人件費分は確保しなければなりません。

し尿・汚泥料金 12円アップ

し尿や汚泥のくみ取り手数料を値上げする条例改正案が提出されました。全議員が賛成し可決しました。

町は2年に1度事業者と、し尿・汚泥のくみ取り料金について協議しています。車両費や燃料費が高騰していますが、今回は運転手の人件費分を引き上げるものです。汲み取り量18リットルあたり、手数料が12円アップする改正です。標準的な家庭では、月あたり66円の負担増と見込まれます。



人件費分のみ値上げ

11月会議補正予算 可決

電気・ガス・食料高騰 4900万円
生活困窮世帯支援 2000万円
除雪費 7000万円

電気・ガス・食料
緊急支援
4900万円

生活困窮世帯
緊急支援
2000万円

除雪費
7000万円
補正

に通知されています。申請締め切りは2月末です。

除雪費
7000万円
補正

昨年10月に、長野県は除雪費用の単価を見直しました。この見直しに沿い除雪費の増額補正が提案されました。

除雪費は、当初予算で2億3千万円を計上しています。今回の補正で除雪費は、3億1千万円になりました。

12月会議補正予算 可決

農家支援 1300万円
事業者物価高騰支援 3300万円
町関係の電気料 4300万円

農家支援
1300万円
補正

事業者
物価高騰支援
3300万円

原油価格の高騰対策として、個人事業者に5万円、法人に10万円を支給する補正予算を可決しました。

産業観光課は1月に、およそ300の事業者に2000万円支給しています。

町関係電気料
4300万円
補正

〈必要書類〉
個人の場合
令和4年分の収支内訳書の写し又は、青色申告決算書の写し
法人の場合
直近の法人決算書及び令和4年分の販売金額がわかる書類
〈提出期限〉
令和5年2月28日

電気料金が上がっています。町施設の電気料も負担が増えています。

各会計から、電気料金を増額する補正予算が提出されました。補正総額は、4300万円になりました。

物価高騰により影響を受けている農業者を支援することを目的に、支援金を給付する補正予算が提出されました。

〈対象者〉
令和4年中に、10万円以上の農産物の販売収入



出動を待つ除雪車

世帯当たり、3万円の支援金を支給する、補正予算を可決しました。

1月上旬に、住民福祉課から該当する世帯

住民税非課税の世帯に、5万円の緊急支援金を給付する、補正予算を可決しました。

住民福祉課は昨年末に、854世帯に給付しています。

請願

(敬称略)

〈請願者〉
信州北部農民組合信濃町支部 代表 荒井 賢蔵
紹介議員 伊藤 博美

賛成討論

伊藤 博美 議員

町農業の主要作物である米の需要を奪い米価下落の要因として稲作農家に大きな影響を及ぼしてきたのがミニムムアクセス米77万トンの輸入にあります。輸入の多くは食糧でなく飼料に回っており、そこに多額の税金が使われています。この多額の税金を食糧自給率の向上で安全安心な食糧確保に稲作農家の所得補償価格支援に回すべきです。

食糧危機、飼料・肥料・資材高騰から農業経営を守り、継続させるための緊急支援を求める請願

〈請願者〉

信州北部農民組合信濃町支部 代表 荒井 賢蔵
紹介議員 永原 和男

不採択

請願 1 件
陳情 4 件
を採択する

陳情

(敬称略)

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書

〈陳情者〉

長野県医療労働組合連合会

執行委員長 小林 吟子

採択

賛成討論

片野 良之 議員

医療介護の現場から届けられた声。陳情です。人手不足で過酷な労働環境、医療・介護や公衆衛生など現場の疲弊は周知の通りです。この声に寄り添うことが、我々議会人や行政に必要な事では無いでしょうか。ケア労働者の思いに心を傾け、後押ししようではありませんか。

消費税の事務に付加される適格請求書（インボイス）導入を中止するよう国に対する意見書採択を求める陳情

〈陳情者〉

信州北部農民組合信濃町支部 代表 荒井 賢蔵

採択

反対討論

湊 喜一 議員

本来は、納税すべきものが今まで免除されていたものです。消費者からは消費税をいただき、納税しないので、含み益となっています。税の公平性から言えば事業者は消費税を納めて当たり前です。10年間の経過措置も設けられています。

賛成討論

伊藤 博美 議員

インボイス制度は小規模事業者や農家に増税を押しつけるものであり、免税業者をなくすことがこの制度の狙いです。町内には圧倒的に多い小規模事業者、スーパーや道の駅へ出荷している農家も対象になります。町の経済が大きな打撃を受けることは必至です。導入中止を強く求め賛成の討論とします。

賛成討論

森山木の実 議員

免税事業者が受け取った消費税を国に納めないのはズルいという大いなる勘違いがありますが、裁判所の判決で「免税事業者が受け取る消費税は、利益の一部として考えてよい」とあり、国は控訴せず確定となっています。

国民が声を上げることで、町内に圧倒的に多い一人親方や農業者、個人事業主が生きがいを持って働けるようにとの思いで陳情に賛成します。

介護保険制度の改善を求める意見書提出についての陳情

〈陳情者〉

長野地区社会保障推進協議会 会長 菅田 敏夫

採択

賛成討論

片野 良之 議員

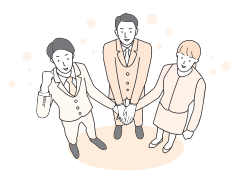
政府は介護保険見直しを検討しています。利用料の負担増、要介護1・2のサービス削減等です。また介護従事者の処遇改善はほど遠いのが現状です。必要ときに必要なサービスを利用・提供できる制度を求めるこの陳情に賛成するものです。

町商工業振興に関する陳情書

〈陳情者〉

信濃町商工会 会長 間瀬 一朗

採択



人口減少対策の
評価は

質問 これまで信濃町が行ってきた人口減少対策について、新町長としての評価を伺います。

町長 大きな成果があつ



酒井 聡 議員

冬の電気料金の高騰は

町長 大変な支出になることを
苦慮しています

質問 長野県が進めているゼロカーボン政策に対し思うところを伺います。

町長 一自治体として、できる対策は打っていかねば、と思います。

ゼロカーボンの 取り組み



燃料費高騰…積雪 10cmならスノードンプでいいか

たと評価しています。今後は更に交流人口の増加などを拡大したいと考えています。

質問 一方で、若者世代の流出を抑える、または帰って来られる政策が必要であると考えますが。

町長 町内だけでなく近隣市町村にも雇用の場を求め、地元に住み続けられるイメージで対策を打てばと思います。

質問 デジタル技術の進展で、将来、町内にいながら大企業とつながる雇用形態も可能なのは。町長 そうした雇用の在り方を模索することは、決して無駄なことではないと思います。

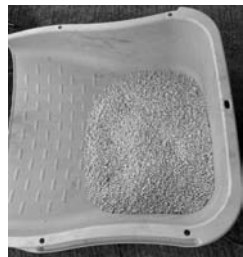
エネルギー価格の 高騰

質問 これから、厳しい冬期間を迎えます。暖房や給湯、除雪には石油が欠かせませんが。

町長 化石燃料無しで冬を乗り切るのは現時点では難しいですが、県や近隣市町村と足並みを揃えて検討していきます。

質問 加えて、この冬は電気料金の高騰も危惧されていますが。

町長 電気代については4000万円の増額補正もあり、大変な支出になることを苦慮しています。



肥料の高騰対策は

質問 農業者への支援策は。町長 農業者への支援策は、販売農家及び農業法人へは1万円から10万円の枠の中で支援金を支出します。

今後の更なる上乗せは、国、県の動向、そしてまた町の財政状況を勘案し



北村 富貴夫 議員

物価高騰に伴う
農業の影響は
町長 農業経営が大変厳しい
状況という、認識です

質問 子育て支援策は。町長 子育て世代への支援は。町長 今後取り組むべき政策の大きな柱として認識しています。保育園・学校の給食費・医療費、それから高校生の通学定期券への補助など、これらについてそれぞれの事業の内容を町が町としてできること、やらなければならないことを整理して上乗せ策を見定めてまいりたい。

質問 給食費の無償化は。町長 学校給食費無料化は、当町の子育て支援全般の中の一つで財政状

町長の将来展望は

質問 信濃町の将来は大丈夫か。

町長 病院経営の在り方等広く町民の皆さんに情報提供し、こんな状態になっている、こんな方向へ向かっていきたい、など皆さんの懸念を払拭していきたいと考えています。

町の施設の管理は

質問 町所有の施設は経年劣化もあり、今後どのように管理していくのか。総務課長 町では公共施設計画また個別計画というものを企てています。

質問 新病院の財政展望は。

病院事務長 繰入を町から行い、この繰入の基準は総務省でルール化がされています。

況を踏まえて検討してまいりたい。

第420回定例会12月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成 ●反対 / 病気・公務出張等により欠席・議決に不参加 {議長は議決に参加しない (-)}

議案番号	議案の内容(要約)	審議結果	北村富貴夫	北村秋敏	小川敬史	伊藤博美	片野良之	佐藤博一	酒井聡	森山木の实	青柳秀吉	湊喜一	永原和男	佐藤武雄
議案第106号	信濃町副町長の選任につき同意を求めることについて	不同意	○	○	●	●	●	●	○	○	●	○	●	-
陳情第7号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	採択	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	-
陳情第8号	消費税の事務に付加される適格請求書(インボイス)導入を中止するよう国に対する意見書採択を求める陳情	採択	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	-
陳情第9号	介護保険制度の改善を求める意見書提出についての陳情	採択	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	-
陳情第10号	町商工業振興に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	-
請願第7号	ミニマム・アクセス米の削減・中止など運用を改め、生産費を償う価格下支えと食料支援の制度化を求める請願	採択	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	○
請願第8号	食糧危機、飼料・肥料・資材高騰から農業経営を守り、継続させるための緊急支援を求める	不採択	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	○
発議第7号	ミニマム・アクセス米の削減・中止など運用を改め、生産費を償う価格下支えと食料支援の制度化を求める意見書	可決	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	○
発議第8号	消費税インボイス制度の中止を求める意見書	可決	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	-
発議第9号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書	可決	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	-
発議第10号	介護保険制度の改善を求める意見書	可決	●	●	○	○	○	●	/	○	○	●	○	-

※ 全会一致の28案件についてはホームページでご確認をお願いします。

信濃町議会

検索

一般質問ズバリ!聞きます!!

一般質問通告一覧

- 酒井 聡 議員
・新町長の政治姿勢について
- 北村 富貴夫 議員
・物価高騰に伴う農業のこれから
・子育て支援策の考え方は
・今後の行財政改革の考え方は
- 北村 秋敏 議員
・信濃町の除雪支援制度について
- 片野 良之 議員
・町長の基本的政治姿勢について
- 小川 敬史 議員
・町長の政治姿勢は
- 佐藤 博一 議員
・理事者の姿勢について
- 森山 木の实 議員
・町長として信濃町のビジョンをどう描いていますか
- 湊 喜一 議員
・子育て応援トータルプランについて
・避難所の設備の実態調査、補強改修について
・発達性読み書き障害(ディスレクシア)について
・地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用について
- 永原 和男 議員
・病院事業経営者としての責任と覚悟は
・国保税を増税しますか
・敷地内薬局は実現性があるのか
- 伊藤 博美 議員
・鈴木町政の基本対応は
・給食費の無償化実現について伺います
・補聴器購入時に補助制度の創設を



北村 秋敏 議員

住宅除雪支援員派遣 制度は万全か

町長 支援できる協力体制を
確保している



質問 今年度の住宅除雪支援員派遣制度は万全か。除雪対象世帯に対して支援員は十分確保できているのか。

町長 この冬につきましては、昨年同様に福祉としての支援ができる協力体制を確保したところで、除雪支援を希望される世帯数は55世帯、除雪支援員として協力いただいた登録者数は48名となっております。

質問 雪下ろしの指示は地域の民生委員さんがす

ると聞いているが、その指導方法は。

住民福祉課長 今年度からは必要に応じて支援員さん側から民生委員さんに連絡を取って作業を実施することも可能となりました。

質問 除雪機の運搬費、燃料代について見直し、検討を考えているのか。

住民福祉課長 住宅除雪支援員派遣制度は県の特別豪雪地帯住宅除雪支援事業補助金を活用しています。雪下ろしに関する補助基準額は、県の基準



昨年の大雪の経験をいかして

額が日額13,000円での2分の1が補助金として町の一般会計に充当されています。ただ、除雪機の運搬費、燃料費の金額等が明確に示された基準になっていないのが実態です。信濃町の場合は県の基準額に4,000円を上乗せして、日額17,000円を除雪支援員さんにお支払いをしております。

片野 良之 議員 学校給食費の 今後の展望は

町長 なんとか実現させたい



質問 学校給食費の無料化は。

町長 親御さんの負担を軽くしたいと公約にも挙げさせていただいた。なんとか実現させたいと考えています。担当の課、県ともよく相談し、継続

的に安定した財源が確保できるように努めたい。町の財政状況を鑑み、一気に負担ゼロは難しいが、段階的に対応できればと考えます。

国の介護保険制度の 見直しについては

質問 自治体の本旨である住民福祉の向上について、国の介護保険制度の見直しをどの様に考えているのか。本旨に則って次の福祉計画にどのような取り組みなのか。

住民福祉課長 既存の長期振興計画などの方向性を維持しながら、基本的に介護福祉制度の趣旨に則り、介護予防・生活支援事業・通所訪問介護、施設サービスの充実に努

めると共に、家族介護者の支援も含めて相談支援にも努めたい。来年には第9期介護保険事業の準備を進める年。看護小規模多機能型居宅介護、特定施設入居者生活介護施設の整備も、民間の皆さんの協力をいただいて、誘致を進めています。

医療体制の強化は

質問 医療体制の強化は、介護や福祉を取り混ぜた取り組みの重要度が増してくると思うが。病院事務局長 国から公立病院の経営強化についてガイドラインが示された。課題解決に向けて進めたい。



県が市町村を支援して
学校給食を
無料に
学校給食の無償化を目指して

佐藤 博一 議員

町長の政治姿勢は

町長 四つの基本方針です



質問 副町長は前町長に財政面でどう支え、今後鈴木町長の基本方針を財政面でどのような方向で進みますか。

副町長 前町長は財政の健全化の改善をし、徴収体制の強化で向上しております。予算編成は補助金や交付税の財源確保が第一義です。鈴木町長へは地方自治法に基き政策等の実現が私の任務です。

質問 ガバナンスについてのお考えは。

町長 住民の福祉の増進に努め、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、事務の適正性の確保が重要かと思っています。副町長 議会や監査委員、住民の皆さま、それぞれの主体性の中で取組んでいただく事と思います。特に議会の、通年議会、基本条例などもガバナンスという面で道を開かれたと思っています。

質問 コンプライアンスについての考えは。

町長 組織体が社会に果たすべき責任を履行する事で、地方公務員は自己の立ち位置を認識し業務にあたる事です。

副町長 地方公務員の服務基準により、



信濃町の観光の玄関は黒姫駅

小川 敬史 議員 民間賃貸住宅建設費 補助金の増額を

町長 検討したい



質問 移住相談が令和3年度238件で、特に賃貸物件についての相談が多い。現在空き家バンクサイトに賃貸物件が1軒もない状況。移住促進のための「信濃町民間賃貸住宅建設費補助金」の増

額を。

町長 賃貸住宅のニーズは極めて高いと認識している。新たに入居すると、住民税、固定資産税、地方交付税なども増額が見込まれ、大変効果の高い事業だと思うので補助率の検討と、新たに既存住宅をリノベーションし貸し出すことへの補助も合わせて検討したい。

町長の政治姿勢は

質問 町長選に立候補しようとした想いは。

町長 地域が抱えている課題の解決に向けて、仲間から町の将来についていろいろな意見が出され、何とか力になつてほしいと話があり、私にお手伝いできればと出馬を判断。

質問 公約として子育て支援策の強化を掲げているが、それを実行するためには歳出を大幅に見直すのか、それとも収入面で財源を確保する



黒姫駅前移住者向けアパート

その他に「若者との意見交換の場について」質問しました。

得策があるのか。また、企業版ふるさと納税への働きかけをしては。町長 既存事業の見直しやコロナ対策等での国・県の補助金をうまく活用して新しい財源として使えないかと考えている、また、継続した支援ができるよう計画的・段階的に進めたい。企業版ふるさと納税は多方面に出向きお願いしていきたい。

質問 病院事業は公営企業です。病院経営者としての責任と決意を伺う。

町長 公営企業の責任者として、病院を引っ張っていかねばならない。質問 病院建設は、建築確認申請書を出す段階ま



永原 和男 議員 経営者としての責任と決意は

町長 開院と安定した経営が責務

敷地内薬局って・・・

新しい病院敷地内に、薬局を誘致する計画が進んでいます。敷地内にある薬局は、「敷地内薬局」と呼ばれています。

新しい病院は、町立病院ですから、敷地は行政財産です。行政財産を民間企業に貸して、借り受けた企業が薬局を建てて経営するという構想です。

病院の近くに薬局があると便利という声があります。方、敷地内薬局構想についての情報も、不足しているとの声もあります。

質問 国保税を増税するの。か。

住民福祉課長 令和5年度は、税率を上げないでいけそうに見込み。

質問 令和3年度は国保加入者が90人減少した。加入者の減少が、国保税に及ぼす影響は。

住民福祉課長 被保険者の減少が、増税につながっていることはありません。

で到達した。基本設計と比べ何パーセントアップしそうか。

病院事務長 令和4年3月時点で29億6千万円。令和4年9月時点で6・6%上昇しています。

国保税の増税はあるか

質問 国保税を増税するの。か。

住民福祉課長 令和5年度は、税率を上げないでいけそうに見込み。

質問 令和3年度は国保加入者が90人減少した。加入者の減少が、国保税に及ぼす影響は。

住民福祉課長 被保険者の減少が、増税につながっていることはありません。

敷地内薬局の実現性は

質問 病院のそばに薬局が出来れば、便利だという声がある。一方、行政財産に地上権が設定されることを心配する声もある。病院敷地内に、民間の薬局を誘致する計画をどう考えるか。

町長 利用者の利益を確保するために、何とか薬局を設置していけるよう取り組んでいきたい。

質問 行政財産を、民間の会社に貸し付けできる根拠は。

病院事務長 地方自治法第238条の4です。

質問 議会との関係をどう築いていきますか。

町長 行政と議会は車の両輪です。目標実現には情勢の共有が極めて大切だと思います。

質問 住民一人ひとりの福祉の向上に努めることが地方自治体の第一の任務と考えますが。

町長 おっしゃるとおりです。事業もその目的に集約されます。

質問 わが党の公開質問の回答で憲法を町政に生かしていきたいと回答を



伊藤 博美 議員 議会 住民 職員 情報の共有が大切です

よせています。

町長 日本人として日本国憲法に沿った行動をしていくべきだと考えます。

質問 住民の皆さんとの対話はどう進めますか。

町長 地域活動への参加やワークショップの開催を通じて意見交換の場を増やしていきます。

質問 職員一人ひとりの持っている力を発揮できる場をどう作りますか。

町長 日々の決裁やレクチャーの場をはじめ、現場に出向き情報を共有するよう努めます。



新町長を迎えて新たな出発

給食費は無償化に

質問 公約実現に向けて予算編成をしていますか。

町長 何とか実現したいと考えていますが、来年度すぐには難しいと感じています。計画的・段階的に調整していきます。

質問 町長の決断の時期はいつごろか。

町長 明確に申し上げることはできない。来年度の予算編成、国、県の制度を整理して方針を作りたいと思う。

森山 木の実 議員 職員の能力を 発揮するには

町長 政策発表会などを企画



質問 職員が能力を発揮できる役場について聞きます。ここ数年、職員が縮こまっている、例えば北風と太陽の話の北風に当たっている印象ですが。

町長 活気のある職場については、役場内で政策発表会などを企画、課題の抽出から将来の展望までのプロセスを研究するといった研修で、職員間の繋がりが評価される効果があると考えています。



明るい職場は町民のため

総務課長 本年度、行政のDXの研修をしました。個人でテーマを決め、その解決策をグループで共有して最後に町長に対してプレゼンテーションを行うもので、プレゼンの日程を調整中です。

の研究もしました。

質問 職員が知恵やアイデアを出し、多少の失敗は今後の糧として、ワクワクしながら仕事をしている職場になることを期待しています。

※他に「信濃町の農業について」「子育て支援について」質問しました。

湊 喜一 議員 子育て応援トータル プランの実施は

町長 前向きに対応する方針です



質問 公明党から発表された子育て応援トータルプラン、主な内容は伴走型子育て支援の体制整備、経済的支援の出産子育て応援交付金等があります。実施の検討はされますか。

町長 11月に閣議決定され説明会も開催されています。前向きに対応していく方針です。

住民福祉課長 当町は保健予防係が主で、妊娠期から出産育児については、寄り添った支援を推進しています。

国の考えている10万円相当の経済的支援も、実施してまいりたいと考えています。

質問 給付は現金、クーポン、マイナンバーカードを利用した電子マネー等が考えられますが、実施の方法はどうされますか。

住民福祉課長 現金での給付を考えています。

ゆくゆくはマイナンバーでの申請、給付が望ましいと考えています。

その他 避難所の設備の実態調査、補強改修について 発達性読み書き障がい（ディスレクシア）についての質問しました。

質問 積極的な地域介護・福祉空間整備交付金の活用に向けて、事業者の実態調査、ニーズの調査は進んでいますか。

住民福祉課長 意向調査は進めております。事業者への周知、申請の取りまとめ、相談対応は支援しております。



子育ての様々な要望を聞く

委員会活動

あれこれ

議会活動活性化特別委員会

議会改革のひとつの試みとして、これまで行われてきた「防災無線による一般質問放送」のあり方の検討を始めました。

現在、インターネットを使って一般質問などの議会中継を公開している議会も増えています。

そこで、当委員会では、住民の皆様に対し、放送の聴取の実態や、今後の放送の方法に対するご意見・ご希望などアンケートを行ってきたところです。

アンケートにご協力くださった皆様、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

議場のマイクから
各家庭へ



個人情報保護は？
本年4月から、「個人情報保護法」で守られる個人情報の範囲が大幅に変わります。

役場にある
この法律は、これまで金融機関など民間企業に保存されている個人情報の保護と漏洩を防ぐことを目的としていましたが、今後は、役場や病院などに保存されている個人

個人情報の保護って？

私たちは、日常生活の中で、金融機関や病院、あるいは通信販売の利用など、様々な相手に個人情報を登録しています。

そこで提供した個人情報、目的以外の利用がされないように、つまり、漏洩して犯罪に使われないように「個人情報保護法」で守られています。

この条例は
何を守るの？
議会には多くの個人情報保存されています。議員（歴代）の氏名・住所・連絡先・金融機関口座の情報……。また

この法律は、これまで金融機関など民間企業に保存されている個人情報の保護と漏洩を防ぐことを目的としていましたが、今後は、役場や病院などに保存されている個人

議会の個人情報保護は？

しかし、この法律は、国会・裁判所・地方議会には適用されません。

そこで、信濃町議会として、「信濃町議会個人情報保護条例」を制定する必要があります。

個人情報の取り扱いもそれに含まれることになり。また、役場などに保存されている住民の皆さんの個人情報により強固に守られるようになります。



各議員に貸与されているタブレット

議会運営委員会

議会個人情報保護条例の制定に向けて

個人情報の取り扱いもそれに含まれることになり。また、役場などに保存されている住民の皆さんの個人情報により強固に守られるようになります。

議員の情報以外にも、議案審議で使われる個人情報、具体的には、教育委員や農業委員などに選ばれる皆さんの情報、請願者・陳情者の皆さんの情報などがそれらに含まれます。

この条例は、議会事務局に保存されている個人情報やファイルをまとめ、漏洩や目的外使用を防ぐことを目的としています。

総務産業常任委員会

政策提言に向けての研究内容は、消防予算等に関するものでした。国の交付税及び消防団員への手当等を近隣自治体事例も含めて研究し、次の政策提言とします。

政策提言

1. 消防団員の処遇改善について

日頃から昼夜を問わず地域に密着し、地域の安心・安全に、消防を通して使命感や責任感を持って活躍される消防団員には、敬意を表すところであります。

出動手当を、近隣自治体を参考に改正されましたが、

議長より町長へ政策提言（1月6日）



まだまだ検討すべき点があります。団員の出動手当は、火災・災害・捜索等の実情や規模に見合うよう「信濃町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例」の改正を求めます。

(1) 出動1回につき手当の基準時間を設け、基準時間外は別途支給すること。

社会文教常任委員会

1月12～13日に、千葉県いすみ市へ視察を行いました。市立の全小中学校の学校給食に使われる米を市内産有機米100%で賄っている先進地。児童生徒への食育としても注目され、移住者増や新規就農者が増えている取組を視察しました。

<千葉県いすみ市／有機農産物学校給食利用視察>



（撮影 片野）



市職員から説明を受ける

有機米に必要な堆肥



委員会活動あれこれ

全員協議会から

10月から12月の間、全員協議会は計4回開催しました。

11/2 SNS、アンケート

1. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の運用について
議会運営委員会より
前回の全員協議会で案件だったSNSの関係は、議会の申し合せ事項の中に入れるという事でまとまりました。

2. アンケートについて
議会活動活性化特別委員会より
防災無線を利用した一般質問放送で、町民の皆さんがどのように感じているのかアンケートの形で聞いてみたかどうか。内容の打ち合わせを行いました。



し尿処理手数料の改定について

○改定内容

区 分			改定後 手数料	改定前 手数料
し尿 汚泥 (浄化槽)	基本 料金	180ℓ以下	1,870円	1,750円
	加算 料金	180ℓを超える場合は 18ℓにつき。18ℓに満 たない端数は18ℓとみ なす。	187円	175円
	特別 料金	町内に常住しない場合	基本料金・加算料 金ともに1.5を乗 じて算出した額	
		仮設トイレの場合 1回につき		
			2,640円	2,440円

○改定量曾額の基本的考え

公共政計労務単価				
	①令和4年	②令和元年	率①/②	適用 増加率
運転手（特殊）	22,700円	21,400円	106.1%	107%
運転手（一般）	19,800円	18,600円	106.5%	

公共政計労務単価				
	①令和4年	②令和元年	率①/②	適用 増加率
長野県	908円	848円	107.1%	107%

現行手数料 175円（18ℓ）× 107% = 187.25円
※須高地区と同額になる。

12/1 し尿くみ取り手数料の改定

現在、くみ取られたし尿は北部衛生施設組合で受け入れ処理をし、信濃町と飯綱町の両町で行っています。2年に一度、許可業者（2社）と両町で料金及び運営の課題を協議しているなか、人件費、車両費等の支出が上回り、収支は大きく赤字となっている報告がなされました。更に最低賃金、人件費の増や燃料費高騰もあり経営を圧迫しています。

人件費増分で計算すると12円/18ℓ。燃料費を含めた増額分を計算すると35円/18ℓの増額が算出されました。くみ取り事業を継続していくうえで、人件費分の値上げを求めるとの説明がありました。

12/15 信濃町過疎地域持続的 発展計画の変更

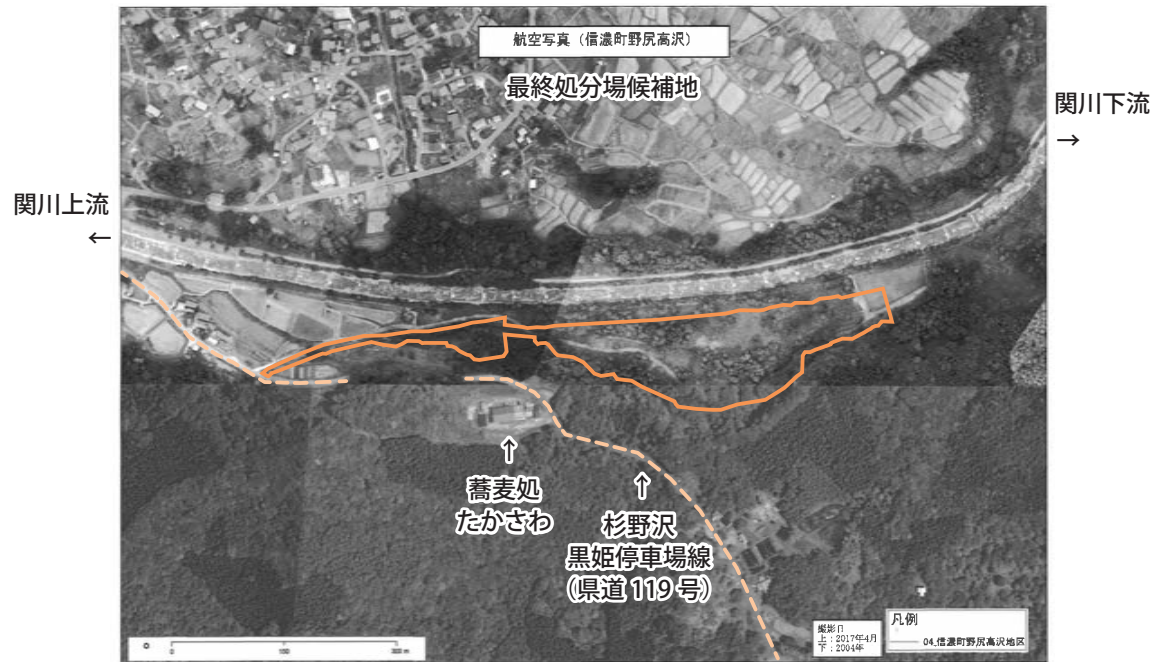
過疎地域持続的発展計画の変更は、主に策定時の文言を現状に合わせて修正するものですが、「交通施設の整備、交通手段の確保の促進」の事業計画の事業内容の道路改良に「石橋稲附線」を加えます。石橋地区起点側の未舗装部分について、地区からの要望があり、道路改良に追加します。

道路の整備状況

道路区分		実延長	舗装済延長	舗装率	改良延長	改良率
		(m)	(m)	(%)	(m)	(%)
国 道		12,622	12,622	100.0	12,622	100.0
県 道		65,101	65,101	100.0	54,207	83.3
町 道	1 級	35,029	34,717	99.1	30,721	87.7
	2 級	21,154	20,805	98.4	18,070	85.4
	その他	252,560	158,616	62.8	52,834	20.9
	計	308,743	214,138	69.4	101,625	32.9

資料：道路施設現況調査（令和2年4月1日現在）

12/15 長野広域連合次期最終 処分場選定に係る進捗状況



11/2 保育園の現状

12/22 令和5年度保育園体制

保育園の現状について

正規保育士3名が年度末より来年度初めにかけて休暇見込みとなり、また調理員3名も年度末での退職の申し出があり、クラス担当の保育士数及び調理員数の確保が急務となりました。このままの職員数では4園での保育体制を維持できないと説明がありました。

令和5年度保育園体制について

11月以降、不足が見込まれる担任を持てる職員の確保に努力してきたが、現時点で1名の確保にとどまり、従来の4園体制を維持するには2名の担任保育士が不足する状態です。4園を維持するためにはゼロ歳児の受け入れを休止せざるを得ず、3園体制とする中で希望者全員の受け入れを優先する方法が検討されています。

野尻保育園を休園し、柏原保育園・古間保育園・富士里保育園での3園で、希望者全員を受け入れる体制を整えたいとの説明がありました。



難航する保育士確保

第420回定例会を振り返って

第420回 定例会が閉会

12月会議の最終日12月22日をもって350日間の会議期間で開催された第420回信濃町議会が閉会しました。
今定例会期間は、議案件数106件、諮問3件、発議10件、動議1件、請願8件、陳情9件が審議されました。



佐藤 武雄 議員

議員力・議会力向上にと一年研修及び懇談会等実施、また質問の不適切発言など指摘するまでもなく議員自ら考えるべき事だと痛感。また町、議会にとつて、近隣市町村、姉妹都市との交流は大変重要と考えます。



永原 和男 議員

今年はコロナ禍でも行動制限の緩和された年でありましたが、まだまだ地域の行事は簡略化もしくは書類審査等で、対面での会合は少なく寂しく思いました。人はともに支えあい、会話を通じて成長していくものと考えています。



湊 喜一 議員

他市町村の議会活動や行政施策を学ぶ、機会が制限された年でした。こうした状況下、ビデオによる研修を取り



青柳 秀吉 議員

議員として取り組んできた病院建設の目途がついた年であった。赤字経営ではよい医療はできない。経営形態を全部適用とし、

総務産業常任委員会
年度始め計画した町外のし尿投入している下水処理施設の視察は、コロナの理由で延期となっています。

り入れました。
議会改革にも一歩踏み出しています。「開かれた議会」をめざします。

社会文教常任委員会

当委員会は「学校給食のお米を有機にしよう」という政策提言に向けて先進自治体の視察など調査・研究をしています。

経営責任を明確にする事が肝要である。又、議員は一般質問において専門性をもって議論を展開することが望まれる。



実現には10年かかりそうですが、「食」は、将来の町の在り方に繋がる大切なテーマでもあり、忙しくも楽しい活動です。



森山木の実 議員

町の事業の活性化について「地域活性化企業人制度」などの民間委託が増え、役場職員の能力発揮の機会はずっと半ばぐらいモヤモヤしていました。でも代表監査委員の意見書を読んで問題点がスッキリ。進むべき方向が見えてきました。



消防関連に付いて、国からの予算配分、更に団員への手当等の研究をしました。11ページの政策提言をご覧ください。



酒井 聡 議員

コロナとの付き合い方が試行錯誤された一年でしたが、行事や会議に出席できる機会がめっきり減っていました。
お会いする皆さんに「ご無沙汰をしております」と心苦しくごあいさつすることも、そろそろ卒業したいものですね。

コロナの感染拡大に歯止めがかからず、国・県の対応が後手後手に回り町民の命、健康が脅かされ、暮らし生業が苦境に立たされた中での議会でした。新町長を迎えて町政運営に期待をします。



伊藤 博美 議員

決議」を取りまとめ、可決されたことが印象に残っています。もうすぐ一年。終息を願っています。



佐藤 博一 議員

今年を振り返ると、昨年と同じくコロナに翻弄された1年。濃厚接触者となり議会にもでられず、自宅待機の大変さも経験した年となりました。これからの新たな1年が少しでも明るい年となることを願います。



片野 良之 議員

議会活動活性化特別委員会
「議会基本条例」が制定されて2年目。議会報告会は開催できませんでしたが、自由討議として一般質問放送

のあり方を全員で話し合いました。
改革と活性化。どちらも難しい課題ですが、進んでいきたいと思っています。



北村 秋敏 議員

議員だよりの編集は、議員としてのスキルアップの向上につながりました。一般質問では、町民の方からの要望もとりあげました。また、議員会主催の「地域おこし協力隊との意見交換会」では、今後の町づくりのアドバイスをもらいました。



北村 富貴夫 議員

この一年を振り返って安全・安心の暮らし、健康で明るく活気のある町。豊かな自然環境の中で観光や商業・農業の振興、病院関係について毎回一般質問しました。これからも住民の声を町政に届けていきます。

議会広報調査特別委員会
「読んでもらえる議会だよりのコンセプト」に編集して来ました。今号はいかがでしょうか。6人の編集委員が、「アイディア」と「ずく」を出し合い発行しています。感想やご意見をお寄せください。



再三にわたる一般質問で若者定住、子育て支援の充実に向け、「出産お祝金の増額」と働きかけ、昨年4月から出産お祝金が増額されました。まだまだ町には課題等ありますが、今後も町民のみならずの意見を聞き、町政に反映されるよう努めていきます。



小川 敬史 議員

議会運営委員会
個人情報保護条例の作成作業で終了した一年でしたが、3月会議に、急遽「ロシアによるウクライナ侵略を非難する

11/19

一茶忌・全国俳句大会
表彰式



あいさつをする永原副議長

小林一茶の196回忌の法要と一茶忌全国俳句大会の表彰式（3年ぶり）が行われました。永原副議長、社会文教常任委員が出席しました。

11/24

特別豪雪地帯
県要望

信濃町をはじめ10市町村で組織している特別豪雪地帯協議会は、県知事への要望及び県議会への陳情を行いました。永原副議長が出席しました。



県知事に要望書を提出

10/29
30

流山市民まつり

第44回流山市民祭りが開かれ、佐藤議長、佐藤教育長、職員2名が出席。前日は、信濃町のカラマツ材を使った、おおぐろの森中学校や物流施設を視察しました。



開催式典の佐藤議長

10/17

上水内北部議会協議会
研修会



あいさつする佐藤議長

一茶記念館で信濃町と飯綱町の議員が集まり「太陽光発電について」を研修しました。講師は、県環境部環境政策課ゼロカーボン推進室の松本健氏。

お詫び

前号（令和4年10月31日付）の配布で、富士里地区の一部集落で部数の間違いがあり、ご迷惑をおかけ致しました。お詫び申し上げます。

編集後記

令和5年を迎えて早ひと月。議会は十二人十二色、分かりやすい紙面作りに様々な色合いで邁進いたします。

(博)

～議会広報調査特別委員会～

委員長 永原和男 副委員長 北村富貴夫
委員 佐藤博一 片野良之 北村秋敏 小川敬史
さて、今号はいかがでしょうか。ご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。
Fax 255-3081
E-mail: gikai@town.shinano.lg.jp

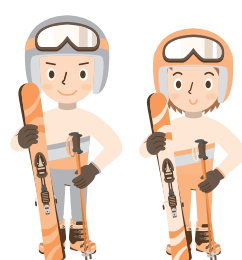


スキー場の安全を願って

12/17

スキー場開き
安全祈願祭

タングラムスキーサーカス・スキー場の安全祈願祭が行われ佐藤議長と北村（秋）議員が出席しました。



表紙の写真
スキーシーズン到来！
これから大会があり、日頃の練習の成果を発揮するぞ。
応援しています。

11/ 4

流山市議会
表敬訪問

流山市議会の森亮二議長ほか7名の方が表敬訪問されました。佐藤議長、永原副議長、高橋副町長がお迎えして交流を深めました。



流山市議会をお迎えして

11/11

地域おこし協力隊
との意見交換会



4名の協力隊員のみなさん

議員会主催の「地域おこし協力隊との意見交換会」を開催しました。事前に提出された質問事項に対して、4名の協力隊員から説明を受け、活発な意見交換会となりました。

こんにちは

でばん
わたしの出番です

不動産業と旅行業を営む…柏原章宏さんと

黒姫高原スノーパークのピザ屋さん…戸田美帆さんです。

黒姫高原スノーパークでピザ屋を始めて三度目の冬を迎えました。この時期毎年楽しみにしているのが、毎年のように黒姫にスキーをしに県内外から訪れて下さるお客様と再会できることです。雪の中でのお仕事は大変



感謝と共に新年の幕開け

古間 戸田 美帆さん

さも増しますが、今年もお客様に元気をいただきながら、新年を迎えることができました。

また、黒姫高原が大好きな二人の息子達の成長も共に見守ってもらっているようで、人に支えられていることをつくづく実感する日々です。



癒しの森と移住と

富士里 柏原 章宏さん

「柏原」という地元っぽい名字ですが、実はまだ7年前に東京から移住して未だ新参者です。

ただし、信濃町とのご縁は意外と古く、ちょうど50年近く前の小学校4年生の頃、黒姫高原スキー場にYMCAの合宿

で来て以来で、その時に初めてスキーを習ったことが一生の思い出になりました。

大学を卒業後、漢方薬のツムラに就職し、55歳の役職定年を機に会社を退社する際、宅建士と旅行業取扱管理者の資格を取得して、信濃町で不動

産業を開業することとなりました。

現在は、移住のきっかけとなった「癒しの森事業」と、「町の空き家バンク」のお手伝いを中心に活動しております。

町議会の皆さまとの交流も増えて参りましたが、ぜひ今後とも、住民目線での行政チェックに期待したいと思っています。

長い冬はまだ始まったばかりですが、今年も沢山のお客様との出会いを楽しみに、そして感謝を忘れずに、冬を楽しみたいと思っております。



三館企画

「ちひろ山荘ものがたり」

童話の森ギャラリーでは、四月より「ちひろ山荘ものがたり」展を開催します。いわさきちひろ黒姫山荘は、黒姫童話館敷地内に一九九九年移築オープンされました。いわさきちひろが黒姫高原の風や草花のいぶきを感じながら、作品を描いた場所です。

山荘の設計は、東京芸大建築科初の女性建築家・奥村まことが行いました。

画家・いわさきちひろと建築家・奥村まこと、ふたりの共通点は、社会に発信する仕事を通じて自立した人生を生き、その中心に日常の暮らしを大切にする視線を持っていたことです。いわさきちひろ黒姫山荘にこめられた、ふたりの女性の生き方をご覧ください。

黒姫童話館長 山崎 玲子



いわさきちひろ黒姫山荘